

# 地震保険オープン研修会 熊本県代協・井上会長が講演

大阪代協・損保協会近畿支部共催



講演する井上会長



研修会の様子

大阪代協は損保協会近畿支部との共催で3月10日午後3時から大阪市中央区の損保会館講堂で地震保険オープン研修会を

「地震保険の付帯率を拡大するため損保協会と共催でオープン研修会を開催しました。一人でも多くの人に加入を勧めることは我々の使命です。地震保険に入っ

ていきたい」と挨拶。また、損保協会近畿支部消費者部会・上原啓部会長は「生活再建に役立ち、地震国日本の安心のよ

円となった。しかし、一方で地震保険未加入のお客様には対応できなかったという悔しさが残った。お客様からは感謝だけでなく、「車両保険な

程コンサルティング受講勸奨、会員増強の三冠を達成。代理店の役割と使命について「お客様のた

業の原点で、伝えることをやめず、嫌われるべからぬ熱意が必要です。質の高いサービスの提供こそが我々の使命。それを待っている人がいます」

と言及。最後に、「人に寄り添うとは人の話をじっくり聞くこと。震災後、お客様の話を謙虚に聞けるようになりました」と締めくくった。

まず、黒石光寿会長が「地震保険の付帯率を拡大するため損保協会と共催でオープン研修会を開催しました。一人でも多くの人に加入を勧めることは我々の使命です。地震保険に入っ

ていきたい」と挨拶。また、損保協会近畿支部消費者部会・上原啓部会長は「生活再建に役立ち、地震国日本の安心のよ

円となった。しかし、一方で地震保険未加入のお客様には対応できなかったという悔しさが残った。お客様からは感謝だけでなく、「車両保険な

程コンサルティング受講勸奨、会員増強の三冠を達成。代理店の役割と使命について「お客様のた

業の原点で、伝えることをやめず、嫌われるべからぬ熱意が必要です。質の高いサービスの提供こそが我々の使命。それを待っている人がいます」

と言及。最後に、「人に寄り添うとは人の話をじっくり聞くこと。震災後、お客様の話を謙虚に聞けるようになりました」と締めくくった。

地震発生後、3日後に災害・お客様対応を開始したが、「1か月は平常業務ができない」と腹をくくった。仮事務所を手配し男性社員だけで1週間お客様へ集中連絡、事故報告を行った。最初の10日間、4人で約300件の事故受け事故報告があり、車中泊を繰り返す事務所まで深夜2時過ぎまで対応した。最終的には、保険金支払件数は約500件、支払保険金約12億

鑑定の問題点・課題として、行政の応急危険度判定・罹災証明書発行の判定と損保鑑定・認定の差に苦しんだこと、再鑑定で認定が変わったことなどを挙げた。

日ごろの身近なところからの危機管理の重要性を訴えるとともに、代理店として会員同士の協力の重要性を再認識するとともに、会員増強への思いを熱く語った(当日、熊本県代協は国民年金基金加入、損害保険大学課